

きらり に 行こう!

資料館には何があるの?の巻

新富町図書館の自動ドアを入って右側に、たくさんさんの埴輪(はにわ)が展示されているのをご存知ですか? 新富町の歴史を知るための資料館で、図書館の郷土資料コーナーもこの部分にあります。

① たくさんさんの形象埴輪

とにかく目立つのは、中心にあるたくさんさんの形象埴輪(けいししょう・はにわ)です。形象埴輪とは、家、人物、動物、盾などをかたどった埴輪のことで、資料館にある埴輪は、上新田地区にある祇園原古墳群の中で4番目に大きい「百足塚古墳」から出土しました。

百足塚古墳の形象埴輪群は、西日本でも検出例の少ない、数と種類を有しています!



これらは、資料館ができるまで展示場所がなく、みなさんに見てもらう機会がほとんどありませんでした。作られた時代の文化を伝える大切な資料である埴輪は、出土場所によって個性があります。新富町内で出土した貴重な文化財を、ぜひ観てみてください。

珍しい私たちは、他の博物館などと呼ばれて出張することもありませんよ。



② 原始からわかる町の歴史

資料館の壁面には、原始から近世までの町の歴史の解説と、出土した矢じりや土器、巻物などが展示されています。解説は写真やイラストが添えられ、左回りで時系列になっているので、新富町の歴史が見やすく分かりやすいです。



イラストは早川和子さん



早川さんは宮崎市出身の、国内では数少ない考古イラストレーター。アニメ制作会社で「天才バカボン」などの制作に携わったあと、博物館などにイラストを出品したり、古代にまつわる書籍の出版や新聞などへの復元画の掲載をしたりされています。

③ 貴重な郷土史

資料館には、図書館の郷土資料コーナーが配置されていて、寄贈された手作り絵本や町史、県や町が発行した冊子など、地元に関するたくさんさんの資料を見ることが出来ます。地元について知りたいときは、まずはここを見てみるとよいかもしれません。

④ クイズも楽しいデジタルサイネージ

デジタルサイネージとは、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称で、資料館にある大きなテレビモニターがそれです。資料館ではこのシステムを活用し、デジタルでも町の歴史を紹介しています。

おすすめは、「新富町クイズ」。資料館内にあるヒントを探しながら、クイズで新富町を学べます。タッチパネルなので、子どもたちも簡単に操作できます。あなたは、全問正解できますか?



イラストは私とまじらう! 塚古墳のイメージです。遊びましょう!



きらりは、もうすぐ開館から丸1年! 2年目も、よろしくおねがいします。